

2006年3月22日

各位

株式会社サイトパスファインダー
参天製薬株式会社

眼科領域における共同研究契約の締結について

株式会社サイトパスファインダー（本社：東京都品川区、社長：藤田芳司、以下C P社）と参天製薬株式会社（本社：大阪市、社長：森田隆和）は、眼科疾患治療のための創薬標的となるDNA、RNA、タンパク質などの分子の探索およびキュービック液晶技術の眼科製剤への応用などについて3年間の共同研究契約を締結しました。

共同研究では、C P社の保有する「トランスフェクションマイクロアレイ技術」を用いて遺伝子機能を解析し、医薬品の治療効果発現に關与する創薬標的分子の探索を行い、その分子に作用する核酸医薬や化合物を見出す創薬研究を展開する予定です。また、同社のキュービック液晶技術について、化合物の安定性や溶解性向上など眼科製剤への応用研究も進めていきます。

C P社は、独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）の研究成果を事業化するために2004年12月に設立された産総研技術移転ベンチャーで、トランスフェクションマイクロアレイ技術や、キュービック液晶などの新規DDS（ドラッグデリバリーシステム）技術を基盤として、医薬品・機能性化粧品の研究開発に取り組んでいます。今回の眼科領域における創薬研究で、自社技術の独自性が存分に発揮できると期待しています。

参天製薬では、自社創薬研究の一環として眼科疾患に關与する発現変動遺伝子について研究していますが、今回の共同研究によって、自社で保有する遺伝子情報の効率的な解析が可能となり、網膜疾患や緑内障分野での中長期的な創薬研究に貢献することを期待しています。また、参天製薬では共同研究を行うにあたりC P社への出資を決定しています。

<ご参考>

キュービック液晶：

液晶は、脂質分子の違いや温度・組成などに応じて多種多様な構造を示しますが、その中で、脂質が立方（キュービック）単位格子の中に特定の規則性でパッキングされ、ブロックの様に積み重なったものを「キュービック液晶」と呼びます。ドラッグデリバリーとして用いられるだけでなく、機能性化粧品や蛋白質結晶化のツールとしても幅広い用途があり、C P社でも物質特許・用途特許を保有しています。

トランスフェクションマイクロアレイ技術：

およそ1500種類の遺伝子の生物学的作用をわずか10mlの細胞培養スケールで解析することができ、的確な標的遺伝子を高速・高精度に同定することができます。C P社は国際展開を視野において、固相法トランスフェクションマイクロアレイの基本特許を保有する米国スクリプス研究所から、2005年9月30日に全世界での独占実施権を獲得しています。